

キリンのオスの“リント”の死因について

当園で飼育していましたキリンのオスの“リント”が 8 月 14 日(土)に亡くなりました。

2009 年 7 月に埼玉県こども動物自然公園より来園。来園当初はメスの“リリー”と過ごし、その後、東京都多摩動物公園より来園したメスの“ユズ”との間に 2 頭のメスが産まれ父親となりました。現在、東京都恩賜上野動物園に移動したメスの“リンゴ”と富山市ファミリーパークに移動したメスの“カリン”がそれにあたります。“ユズ”が 2017 年に死亡したことを機に飼育方法を見直し、健康管理のためのトレーニングも取り入れ、“カリン”と親子展示をしてきましたが、“カリン”を搬出したあとは、東京都多摩動物公園から来園したメスの“ユン”と 2 頭で展示をしながら“ユン”の成長を待つ繁殖をはかる予定でした。

リントは大人しく穏やかな優しい性格で、給餌体験では多くの方に間近で見るキリンの大きさを体感していただき、野生のキリンが置かれている状況やキリンの魅力を伝えてきました。

キリンの 13 歳という年齢は飼育下ではまだ寿命とは言えず、ここ数年は日々のトレーニングの成果もあり多くの治療や採血検査なども行っておりまして、治療のご報告などに対し皆様から応援を頂きました。また今回も“リント”にたくさんのお悔やみのお言葉を頂戴しました。“リント”は皆様に可愛がっていただいたことを改めて感じるとともに、心から御礼申し上げます。

1. 飼育状況

“リント”は 8 年前より右前肢の手根部(人という手首の部分)の変形性関節症となり、関節が X 脚のように内側に曲がっている状態となっていました。炎症などによる痛みが出る都度、鎮痛剤により症状を和らげる治療を行ってきました。

2017 年“リント”のパートナーである“ユズ”が関節炎や蹄の伸びすぎなどにより亡くなったことをきっかけに、飼育方法を見直し、“リント”や今後飼育していくキリンたちが心身ともに健康で暮らせるように健康管理のためのトレーニングも始めました。“リント”にも自発的に協力してもらい、今までは出来なかった注射をすることができるようになり、定期的な採血により健康状態を把握することができるほか、変形性関節症に効果が期待できるヒアルロン酸の注射も行うこともできました。また、飼育下のキリンは野生の個体に比べ運動量が少なく蹄が伸びすぎることがあるので、運動場にはザラザラとした蹄が削れる効果のある火山礫を敷き詰めるなどの工夫もしてきました。しかし、“リント”は関節の変形により、蹄が本来伸びる方向ではなく横へねじれて伸びてしまっていたので、定期的な削蹄が必要と考え、削蹄のトレーニングも行い、少しずつではありますが“リント”のためにできることを増やしてきました。

4 月中旬より夜間座って休まないことが度々見られるようになり、5 月にはメスの“ユン”が来園し“リント”の状態も良い方に向かえばと期待したのですが、その後も夜間座って休む頻度は少なく、6 月に入ってから一度も座らなくなりました。

鎮痛剤の種類を症状に応じて変更し、適度に運動させることなど試行錯誤した結果、7 月半ば頃より歩様はぎこちないものの自発的に歩く様子も見られ状態は安定しました。しかし、その後も夜間座って休む行動は見られませんでした。

8 月には、関節炎は発症していない左前肢への負担も徐々に現れ始め、起立姿勢も両前肢をかばうような歪んだ姿勢が目立つようになりました。8 月 9 日には寝室から出たがらない様子や食欲不振が見られ、その後数日は歩行時にバランスを崩し転倒しそうになることが度々ありました。このため、8 月 13 日に詳しい経過を報告し治療に専念することにしましたが、翌 14 日朝 7 時半ごろに“リンタ”が座っている状態を発見し、その後死亡を確認しました。

2. 死亡原因の推測

2013 年頃より見られた右手根関節の変形性関節症が、2021 年 6 月頃より悪化し、夜間も座って休まない状況が 2 月ほど続いたため、右前肢だけではなく体重を支えていた左前肢にも大きな負担がかかっている状態となっていました。このような異常姿勢のため全身の筋肉が疲弊したことや衰弱が進んだことにより、最終的に起立姿勢を維持することが出来なくなり座り込んでしまったものと考えています。

解剖検査の結果からは、起立不能により心臓への負荷が増大したことによる急性心不全が原因で死亡したものと推測しています。また、起立不能に至った原因は、変形性関節症の他にも、肝臓全体に見られた変性壊死から肝機能が低下していたと考えられることや、消瘦による衰弱なども原因と考えています。

今後、詳しい病理組織検査を外部機関に依頼し、死因の原因精査を進める予定です。また、発端となった変形性関節症や変形蹄の詳細を確認するために、岩手大学にご協力いただき、CT 検査を行いました。その結果、変形性関節症になっていた手根関節には骨増生が確認され、蹄については蹄底の過長などが確認されました。今後はこのようなデータをまとめ、検証し、今後の予防や治療、飼育方法の改善に活かしていきたいと思います。

3. 個体情報

動物種:キリン(愛称 リンタ)

性別:雄 年齢:13 歳(生年月日:2008 年 2 月 14 日)

体重:850 kg

外部計測値:頭胴長 404 cm 肩高 305 cm

(頭胴長…鼻の先から尾の付け根まで、肩高…地面から肩の高さ)